

こんな部員を望む

①大きな声が出る、元気な声が出る、気の利いた声が出る

高く強く短い声。周囲に相乗効果を生む。挨拶や返事は相手より大きな声で。

②時間を守る・期限を守る(レポート・課題・提出物・集合時間など全て)

野球は間のスポーツと言われる。視点を変えればすなわち時間との勝負。4秒の間にランナーは1つ先の塁に進む。その腹時計は普段の生活全てから身につく。行動が遅い者に腹時計は身につかない。

③校歌を堂々と歌う

勝利して校歌を公の場で歌うことができるのは高校野球くらい。高校野球児は母校の校歌を歌うことに誇りを持つ。

④いついかなる時も服装を正す

学校の制服や作業着、グラウンド上でのユニフォームやジャージなどすべてに心が表れる

⑤大人に可愛がられる

成績が悪いより良い方が良く、野球が下手より上手な方が良く、不真面目より真面目の方が良い。しかし何より、先生方や地域の方、審判の方など大人に可愛がられる人材であれ。

⑥凡事徹底という言葉は不要

できて当たり前。部内申し合わせ事項参照。

⑦米1日7合以上食べる

食えることへの執念は勝つことへの執念！！

⑧家で毎日、素振りやシャドーピッチング、ランニング、トレーニング、ストレッチなどの内、1つ以上はする

例えば1日だけ365回するより、1日1回の方が尊い。その1回のために費やす前後の時間と、野球と向き合う時間も含まれるから。

⑨グラウンドと用具・道具を大切に使う

グラウンド整備の広さは守備範囲の広さ、グラウンド整備の丁寧さはプレーの丁寧さ。用具・道具を大切に管理することは、親への感謝。

⑩係の仕事を責任を持って遂行する

試合はすべて役割分担。係の役割を認識して行動する力は、必ず試合の中で表現される。

⑪チームメイトを本気で応援し、喜び、叱責する

立場や技量は関係ない。これがチームの爆発力となる。

⑫洗濯、取り込み、弁当箱洗い、米炊き、の内1つ以上はする

社会に出て行く準備。

⑬変化＝成長

考え方や行動、技術などにおいて、変わることを恐れない・ためらわない。「現在」がどうであるかだけでなく、「現在」からさらにどう変わるのが大切。試合の中で瞬時の変化が必要な時はたくさんある。

⑭学校を元気にする、クラスを元気にする

学校やクラスの活力源となる。『硬式野球部だけ』ではない。勝つためには学校やクラスに活力が必要。

⑮スタメンになるために存在しているのではなく、「倉工」が勝つために存在する

スタメン、ベンチ、ベンチ外、試合運営、応援、A(戦)、B(戦)、育成など、いかなる立場も「レギュラー」である

⑯『甲子園』を堂々と言葉にする

言葉にする、口にすることで近づいていく、近づいて来てくれる、迎えに来てくれる。『叶う』

⑰倉敷を元気にする

そんな存在でありたい。